

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：

社会福祉課

シートNo： 32

作成日： 2024/6/17

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	3誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める	ノーマライゼーションや地域社会における共生の考え方は、少しずつ浸透していますが、偏見や差別という「心のバリアフリー」の問題は、引き続き大きな課題となっています。障がいのある人が地域社会で共生できる社会を実現するためには、全ての人が多様な障がいや、障がいのある人に対する理解を深めていくことが必要です。また、障がいのある人に対する理解を促進するため、障がいのある人とない人との交流の機会を充実させることが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者が安心して暮らせる地域共生社会の実現に向け、障がい及び障がい者に対する正しい理解と配慮についての啓発を行います。 障がい者の社会参加や交流機会の拡大を推進します。
	施策	2障がい者福祉		
	施策内容	共に生きる社会づくりの推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		
事務事業名	理解促進研修啓発事業			

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	民生費
	項	社会福祉費
	目	心身障がい者福祉費
事業	地域生活支援事業費	

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）			アウトプット（結果）		
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
透明ディスプレイを活用した啓発活動	社会福祉課窓口を訪れる方	開庁日全日	開庁日全日	36回	50回
こまり感バッジの窓口設置・配布による理解促進活動	社会福祉課窓口を訪れる方	開庁日全日	開庁日全日	324個	350個
ヘルプマークのポスター等掲示による理解促進活動	社会福祉課窓口を訪れる方	開庁日全日	開庁日全日	80個	100個
SNSを活用した啓発活動	SNSを閲覧できる方	2回	0回	表示回数3,114回	0回
身体障害者山の集い・銀輪の集い	障がい者	1回	1回	19名	10名
茨城県障害者スポーツ大会	障がい者・応援者	1回	1回	6名	5名

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
障がい福祉に関するSNS発信数	2回	0回
各種イベントへの参加人数	25名	15名

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性		
<input type="checkbox"/>	コスト	<input checked="" type="checkbox"/>	活動	<input type="checkbox"/>	成果	<input type="checkbox"/>	その他	障がいのある人もない人も、ともに活動や交流が出来るような「地域共生社会」の実現を図るため、障がいのある人や障がい特性などを、市民の方が学ぶ機会の充実や、情報等の提供、及び交流の場を増やしていくことが必要です。 現在、コロナ禍から少しずつ日常を取り戻しつつあります。スポーツ大会をはじめとする障がい者との交流の場の参加者数は拡大が見込まれます。各種広報媒体の活用や様々な行事・イベントを通して障がいに関する理解を啓発していきます。
業務の振り返り ヘルプマークのポスターの掲示、こまり感バッジの配布、透明ディスプレイをのライドショーで障がい理解のための啓発活動を実施できました。また、茨城県身体障害者スポーツ大会では参加者の多くがメダルを獲得し、全国大会への出場者を輩出することができました。参加者は来年度の大会も楽しみにしており、今後より多くの参加人数が見込めます。								

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
障がい福祉に関する理解度の向上	41%	50%
障がい者の社会参加の促進	52.7%	60%